

上越南地区商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）
イ 対象企業 同地区内商工会員
ウ 調査企業数 75 事業所（うち小規模事業者数 73 事業所）
エ 回答企業数 75 事業所
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和3年 10月～ 令和3年 12月
(調査時点： 令和4年1月11日)

(3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	25	33.3%	25	33.3%
2 製造業	9	12.0%	9	12.0%
3 卸売業	4	5.3%	4	5.3%
4 小売業	19	25.3%	19	25.3%
5 飲食・宿泊業	10	13.3%	10	13.3%
6 サービス業その他	8	10.7%	8	10.7%
合計	75	100.0%	75	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	73	2	0	75
構成比	97.3%	2.7%	0.0%	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

今回の調査では前年同期比と比較すると改善傾向にあったものの、前期比からすると僅かながら景況は悪化との結果であった。今後の見通しは新型コロナウイルスの新しい変異株の動向、また、引き続き顕在化する原材料価格の高騰やそれに伴う物価の急激な上振れリスクなども踏まえ、長期化した場合は厳しい経営状況につながる恐れもあり、先行きを注視する必要がある。さらに、飲食業においてはまん延防止等重点措置の実施により当分の間は飲食需要のお客様の外出が控えられる風潮が続くと予想される。

【売上高】

売上DI値は、前年同期比（R2. 10月～12月）より+13.7ポイント増加したが、前期比（R3. 7月～9月）では△6.6ポイントの減少。今後の見通し（R4. 1～3月）では新型コロナウイルス感染の急速拡大により△26.4ポイントと大幅に減少が見られ、依然として低水準で推移する見通しとなっている。

前年同期比

増加	不変	減少
19	25	31

前期比

増加	不変	減少
19	29	27

今後の見通し

増加	不変	減少
6	25	44

売上DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	▲ 8.9	▲ 19.7	▲ 49.3	▲ 56.0	▲ 48.0	▲ 46.7	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0			
前期比	5.1	0.0	▲ 72.0	▲ 36.0	▲ 18.7	▲ 29.3	▲ 47.3	12.0	▲ 4.1	▲ 10.7			
今後の見通し	▲ 27.8	▲ 55.3	▲ 56.0	▲ 38.7	▲ 44.0	▲ 58.7	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7			

【採算】

採算値については、前年同期比（R2. 10月～12月）で+9.7ポイント増加しているが、前期比（R3. 7月～9月）は+0.2ポイントの微増となった。しかし、今後の見通し（R4. 1～3月）は△27.8ポイントと大幅に減少している。売上DIと同じく全業種で、今後の見通しは不変及び悪化との回答が多く見られた。

前年同期比

好転	不変	悪化
15	33	27

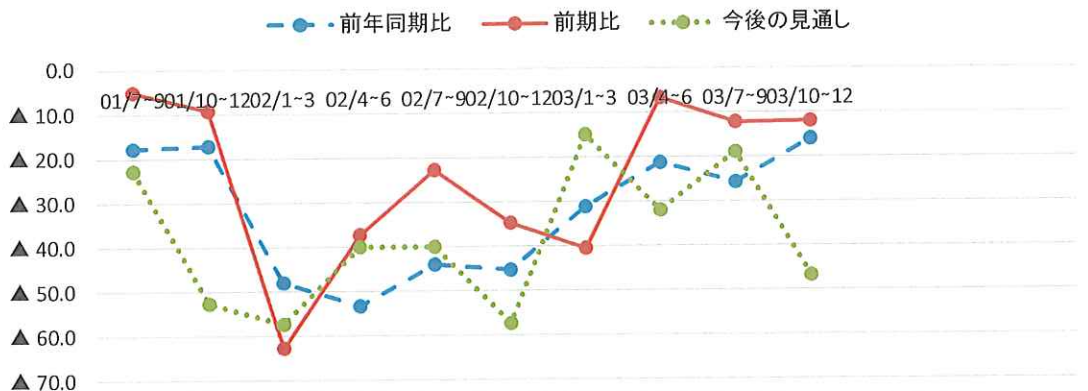
前期比

好転	不変	悪化
14	38	23

今後の見通し

好転	不変	悪化
2	36	37

採算DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	▲ 17.7	▲ 17.1	▲ 48.0	▲ 53.3	▲ 44.0	▲ 45.3	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0			
前期比	▲ 5.1	▲ 9.2	▲ 62.7	▲ 37.3	▲ 22.7	▲ 34.7	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0			
今後の見通し	▲ 22.8	▲ 52.6	▲ 57.3	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 57.3	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7			

【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R2.10月～12月）で+4.8ポイントであり、前期比（R3.7月～9月）では+10.2ポイントと共に増加した。但し、今後の見通し（R4.1～3月）は△3.1ポイントの減少となった。特に、建設業においては前年同期比から今後の見通しまで半数以上が上昇との回答であった。

前年同期比

上昇	不変	低下
38	35	2

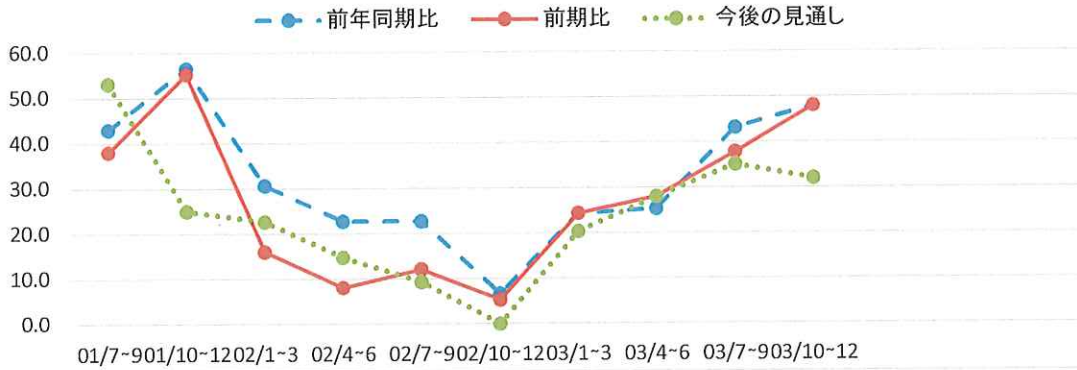
前期比

上昇	不変	低下
39	33	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
30	39	6

仕入単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	43.0	56.6	30.7	22.7	22.7	6.7	24.3	25.3	43.2	48.0			
前期比	38.0	55.3	16.0	8.0	12.0	5.3	24.3	28.0	37.8	48.0			
今後の見通し	53.2	25.0	22.7	14.7	9.3	0.0	20.3	28.0	35.1	32.0			

【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R2.10月～12月）で+1.3ポイントであり、前期比（R3.7月～9月）は+5.4ポイントと共に増加となった。但し、今後の見通し（R4.1～3月）は△3.9ポイントと減少を示している。今回調査の今後の見通しでは不変もしくは低下と回答した事業所は全体の約9割であり、さらに卸売業・小売業においては低下するとの回答が目立った。

前年同期比

上昇	不変	低下
13	50	12

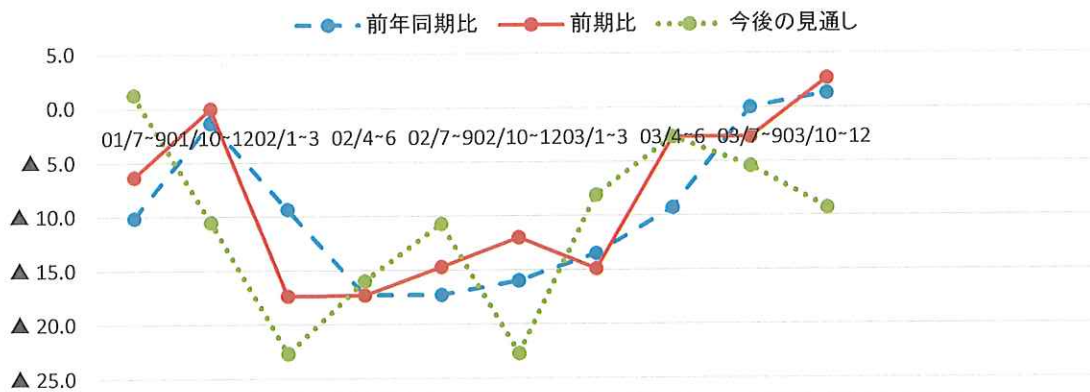
前期比

上昇	不変	低下
13	51	11

今後の見通し

上昇	不変	低下
8	52	15

販売（客）単価DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	▲ 10.1	▲ 1.3	▲ 9.3	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 16.0	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0	1.3			
前期比	▲ 6.3	0.0	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7			
今後の見通し	1.3	▲ 10.5	▲ 22.7	▲ 16.0	▲ 10.7	▲ 22.7	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3			

【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R2. 10月～12月）で+8.3ポイントであり、前期比（R3. 7月～9月）では△3.9ポイントとなり、さらに今後の見通し（R4. 1～3月）では△13.4ポイントと悪化になった。今後の見通しでは殆どの調査企業が不変・悪化との回答であった。

前年同期比

好転	不変	悪化
6	54	15

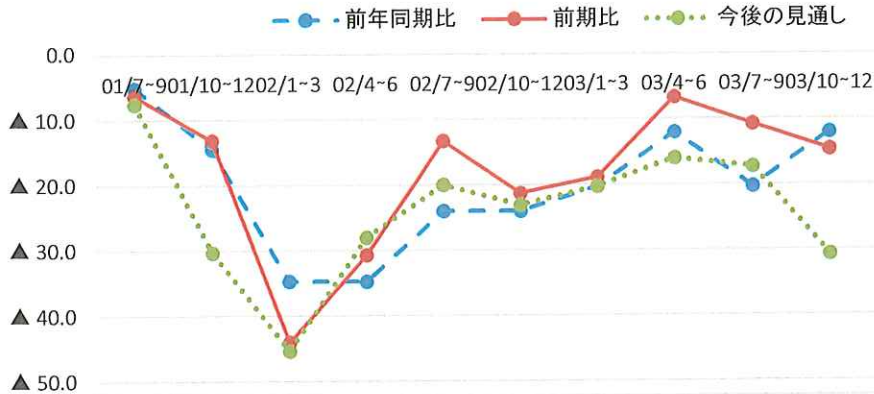
前期比

好転	不変	悪化
4	56	15

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	50	24

資金繰りDIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	▲ 5.1	▲ 14.5	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0			
前期比	▲ 6.3	▲ 13.2	▲ 44.0	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 21.3	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7			
今後の見通し	▲ 7.6	▲ 30.3	▲ 45.3	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 23.1	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7			

【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R2. 10月～12月）で△5.2ポイントであり、前期比（R3. 7月～9月）では△11.9ポイントとなり、さらに今後の見通し（R4. 1～3月）でも△3.9ポイントと全てにおいて前回調査より悪化となった。今回調査で約9割の事業所が不変と回答している。

前年同期比

増加	不変	減少
0	65	10

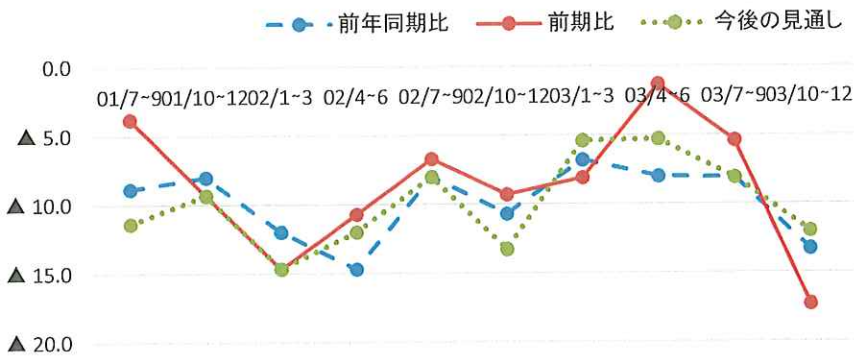
前期比

増加	不変	減少
0	62	13

今後の見通し

増加	不変	減少
0	66	9

雇用動向DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	▲ 8.9	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 14.7	▲ 8.0	▲ 10.7	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3			
前期比	▲ 3.8	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 10.7	▲ 6.7	▲ 9.3	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3			
今後の見通し	▲ 11.4	▲ 9.3	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 13.3	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0			

【景況判断】

景況判断については、前年同期比（R2. 10月～12月）で+5.8ポイントであったが、前期比（R3. 7月～9月）では△2.3ポイントと低下した。しかし、今後の見通し（R4. 1～3月）は△16.9ポイント減少し悪化傾向にある結果を示した。また、今後の見通しで好転すると回答した事業所はわずか1件のみとなっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
7	39	29

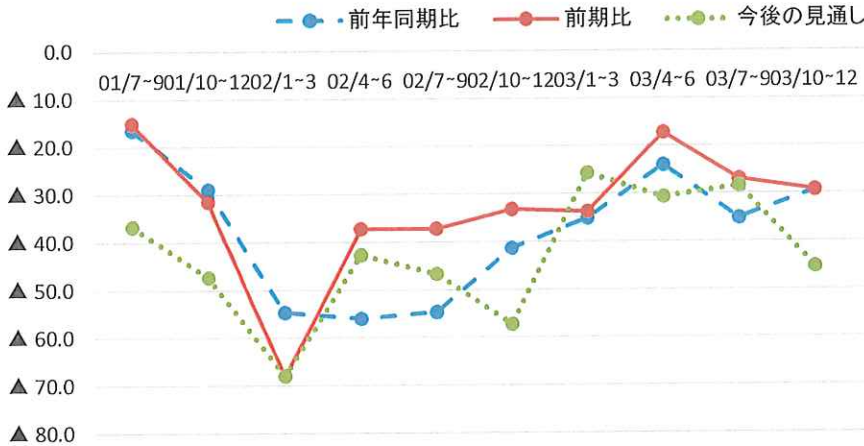
前期比

好転	不変	悪化
6	41	28

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	39	35

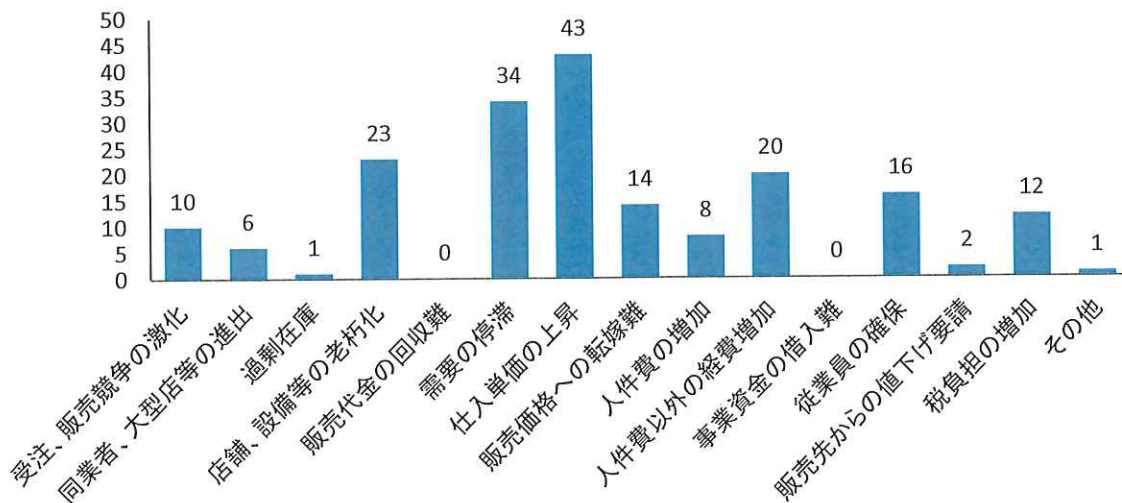
景況判断DIの推移



	01/7-9	01/10-12	02/1-3	02/4-6	02/7-9	02/10-12	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12			
前年同期比	▲ 16.5	▲ 28.9	▲ 54.7	▲ 56.0	▲ 54.7	▲ 41.3	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3			
前期比	▲ 15.2	▲ 31.6	▲ 68.0	▲ 37.3	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3			
今後の見通し	▲ 36.7	▲ 47.4	▲ 68.0	▲ 42.7	▲ 46.7	▲ 57.3	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3			

【経営上の問題点】

経営上の問題点については未だ厳しい状況の中、今回の調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「店舗、設備等の老朽化」が問題点として挙げられていた。特に「仕入単価の上昇」については、建設業・製造業の7割以上の事業所が回答している。また、建設業においては後継者難や従業員の高齢化・慢性的な人手不足により「従業員の確保」を問題点として挙げた事業所が多く特徴的であった。今後の事業・経営において強化したい点・期待したい点等として、新商品の開発や営業力の強化・販路拡大に期待したいなどが挙げられている。



3. 自由意見

今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

【 建設業 】

- ・設備器具等の品不足により見通しが立たない
- ・営業力強化
- ・設備投資
- ・ベトナムからの実習生がまた1からになってしまった。従業員の確保は常に困難
- ・従業員への事業承継
- ・従業員確保のため、又、人員増員を考えているため法人化に移行したいと思います
- ・建築大工の若年層の職人不足、確保の為には労働条件の改善が求められる
- ・販路開拓、単価を上げる
- ・今年度は行政、民間共に投資停滞すると感じているので経費等を節約して運営したいと思っている

【 製造業 】

- ・生活環境の変化がどのように変わっていくか注視したい

【 卸・小売業 】

- ・事業継承も念頭に、ミニスーパーマーケット化した店舗から専門店への移行
- ・販売する側も高齢化し、このままどこまで商売を続けられるか問題となっている現状です
- ・取引先の廃業があったりで今後どうなるか心配です。原料値上げで仕入値段も高くなりそう

【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・コロナの一日も早い終息を願う
- ・秋の売上が年々減少している。設備投資を行い、新商品開発に取り組み、テイクアウトメニューの充実を図りたい。販路拡大の支援を希望する
- ・コロナも会食が減り困りますが、冬の降雪はお店を開ける事すら出来ず大変です
- ・顧客の来店度アップ。来店度が落ちている。コロナ禍だからとは限らない
1ヶ月に1回の来店が、2～4ヶ月に1回になっている
- ・客様の高齢化により客足が遠のく。また来店が困難になっている